

別紙 1

落葉果樹研究会プログラム

I タイムテーブル

分科会等の開催時間と場所

分科会等名称	開催日時	2月4日(火)		2月5日(水)	
		午前	午後	午前	午後
開会挨拶	2月4日 9:50 ~ 10:00	【公開】 ↔ 中ホール 300			
1. 全体会議	2月4日 10:00 ~ 12:00	【公開】 ↔ 中ホール 300			
2. 栽培・土壌肥料分科会					
① ナシ	2月4日 13:20 ~ 14:20		【公開】 ↔ 中ホール 300		
② 気象・温暖化	2月4日 14:20 ~ 15:00		【公開】 ↔ 中ホール 300		
③ 流通利用	2月4日 15:20 ~ 16:00		【公開】 ↔ 中ホール 300		
④ 核果類	2月4日 16:00 ~ 17:00		【公開】 ↔ 中ホール 300		
⑤ カキ	2月5日 9:00 ~ 10:00			【公開】 ↔ 中ホール 300	
⑥ ブドウ	2月5日 10:20 ~ 11:20			【公開】 ↔ 中ホール 300	
その他連絡事項	~ 11:30			【公開】 ↔ 中ホール 300	

注1) 冒頭の開会挨拶は、並行して開催される「常緑・落葉果樹病害虫研究会」及び「果樹・茶系統適応性検定試験成績検討会（落葉果樹）」との合同です。

注2) 果樹・茶系統適応性検定試験成績検討会（落葉果樹）との合同交流会（会費5,000円）を、2月4日（火）18:00より、つくば国際会議場1F多目的ホールにて開催します。

II 分科会等の内容

1. 全体会議「グローバル時代における国産果樹の需要拡大に向けて」

令和2年2月4日（火）10：00～12：00【公開】

【趣旨】

近年、果物消費の減少傾向とともに、生産者の高齢化や担い手の不足等、果樹産地の弱体化が懸念されている。また、高齢化社会を迎え、日本の人口は今後大幅に減ることも予測されており、ますます果物消費や働き手の減少といった問題にも直面することが予想される。

2018年12月にはTPP11、2019年2月にはEUとのEPAが発効し、また、米国との二国間協議の合意により、主要な果実で関税が段階的に撤廃されることとなり、輸入果実との競合が激しくなってきた。一方、果実輸出は円安の影響もあって高水準にあり、輸出を牽引しているリンゴだけでなく、「シャインマスカット」などのブドウ新品種やモモの人気の高まっている。このような中で、長野県のリンゴ「シナノゴールド」の国外での生産事例に見られるように、グローバル化を意識した品種開発や知財の活用が注目される。また、果実加工品については、季節や地域にこだわった国産果実の加工品が増加傾向にあり、コンビニスイーツやジューススタンドなどの加工・業務用需要が伸びつつある。このような情勢の変化の中で、従来の高級フルーツのブランド戦略に加えて、今後は、輸出や加工・業務用のニーズを把握しながら、それらの需要に合った新品種の開発や生産物の安定的な供給が産業活性化のカギとなる。

そこで、農研機構や県における果樹育種の方向や、果実輸出の状況、コンビニエンスストア等における消費トレンドや商品開発の方向について話題提供を頂き、今後の果樹需要拡大を目指した産業の姿や研究方向について議論する。

【話題提供】

- 1) 需要拡大に向けた農研機構の果樹育種

農研機構果樹茶業研究部門 別所 英男

- 2) 長野県における果樹の育種と知的財産権の活用

長野県果樹試験場 小松 宏光

- 3) 果実輸出の現状と品目、品種等に関する相手国のニーズ（仮題）

東京青果(株)輸出室 鈴木 慎太郎

- 4) 消費トレンドとフルーツ商品開発（仮題）

赤城乳業株式会社 開発本部 萩原 史雄

- 5) 総合討議

2. 栽培・土壌肥料分科会

【趣旨】

落葉果樹の栽培・土壌肥料に関連して、樹種や研究分野別に、①ナシ、②気象・温暖化、③流通利用、④核果類、⑤カキ、⑥ブドウのセッションを設け、最近のトピックス等の話題を提供し、情報共有と論議を進めることで、栽培・土壌肥料分野のより一層の推進を図る。

① ナシ

令和2年2月4日（火）13：20～14：20【公開】

【話題提供】

1) メッシュ農業気象データを用いた生育予測について

茨城県農業総合センター 唐澤 友洋

2) 花粉採取作業を省力化する花蕾採取機の開発 (仮題)

農研機構 農業技術革新工学研究センター 深井 智子

3) 「にっこり」輸出に向けた取り組み ～栽培・流通の側面から～

栃木県農政部経済流通課 大谷 義夫

② 気象・温暖化

令和2年2月4日 (火) 14:20～15:00【公開】

【話題提供】

1) 施肥時期の変更によるニホンナシ発芽不良発生の軽減策 (仮題)

鹿児島県農業開発総合センター 腰替 大地

2) ブドウ「シャインマスカット」等の開花予測について (仮題)

農研機構 果樹茶業研究部門 杉浦 裕義

-----休憩 (20分) -----

③ 流通利用

令和2年2月4日 (火) 15:20～16:00【公開】

【話題提供】

1) リンゴの品種別加工適性および高品質加工製品の開発 (仮題)

長野県農村工業研究所 竹内 正彦

2) 果汁の交流電界殺菌による高付加価値化 (仮題)

農研機構食品研究部門 植村 邦彦

④ 核果類

令和2年2月4日 (火) 16:00～17:00【公開】

【話題提供】

1) モモジョイントV字トレリス栽培の果実生産性および作業性について (仮題)

福島県農業総合センター果樹研究所 安達 義輝

2) スモモジョイント栽培における自走式回転羽毛受粉機の利用について

群馬県農業技術センター 中野 葉子

3) 岡山県モモオリジナル新品種の輸出先ニーズに対応した栽培技術の確立

岡山県農林水産総合センター農業研究所 樋野 友之

⑤ カキ

令和2年2月5日 (水) 9:00～10:00【公開】

【話題提供】

1) 中温中高压処理によるカキの迅速脱渋

岐阜県農業技術センター 杉浦 真由・新川 猛

2) カキ「西条」の低濃度ドライアイス個包装冷蔵脱渋法の開発

島根県農業技術センター 大畑 和也

3) カキ「中谷早生」の海上輸送によるシンガポールへの輸出試験

和歌山県果樹試験場かき・もも研究所 古田 貴裕

-----休憩（20分）-----

⑥ ブドウ

令和2年2月5日（水） 10:20～11:20【公開】

【話題提供】

1) 粒ブドウ販売を目指したブドウ「シャインマスカット」の省力果房管理法

三重県農業研究所伊賀農業研究室 安川 大二郎

2) 植物ホルモン処理がブドウ「シャインマスカット」果実の味覚に及ぼす影響

大阪府立環境農林水産総合研究所 末廣 優加

3) ブドウ「シャインマスカット」の2回目ジベレリン処理時のCPPU単用処理が果実品質に及ぼす影響

香川県農業試験場府中果樹研究所 福田哲生

その他連絡事項

～11:30終了